

# 真誠

学校だより  
No.8  
西東京市立  
田無小学校  
令和4年  
11月30日

## 行事の二学期

校長 前田 元

早いもので、十二月となりました。二学期は、わかば学級の宿泊学習や六年生の赤城移動教室、体育学習公開など、多くの学校行事を新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら行ってまいりました。

どの行事でも、子供たちが素直に取り組み成長する姿を見せてくれたことは、本当にうれしいことだと感じています。

十二月には音楽会を予定しています。四月当初から、検討を始め、体育館での三密を避けるために、各ご家庭一名でのご案内となりました。第八波がささやかれる昨今、新型コロナウイルス対策を徹底しながらの公開ということ、ご理解いただければと存じます。

さて、音楽会には特殊な部分があります。合奏や合唱には、普段の生活の中では行うことのできない特殊性があるのです。

それは、「歌う人や演奏する人が呼吸を合わせなければいけない」ということです。みんなで同時に音を大きくすることや、かっこよくピタッと演奏を止めるためには、息を合わせなければいけません。これは、文字通りみんなの呼吸を合わせないとそろえることが

できないのです。

多くの仲間と呼吸をそろえることは、生活の中であまりありません。また、その機会があったとしても、意識して取り組まないとなかなかそろわないものです。

こうした、合奏の特殊性を踏まえ、子供たちは一生懸命練習してきました。どの学年も息の合った演奏を披露してくれると思います。

十分にご覧いただくことは難しいと思いますが、わずかでもその姿をご覧いただければと思います。

### 目を見て伝える

十一月に読書月間ということで、トムの会の皆様が読み聞かせをしてくださいました。みなさんの読み聞かせは、まず、場の雰囲気を作る語り聞かせから始まります。

原稿を何も見ずに、子供たちの目を見て話しかけるところから始まるのです。田無小の子供たちは、真剣に聞き入っていきます。

私たち教員は子供たちと話すときに子供の目を見ることを意識します。子供の目を見て、できる限り気持ちを込めてお話をします。そんなとき、真剣に見つめ返してくれる子とは、心が通い合ったような気持ちになります。そして、子供たちが、そんな目をして

て学びに取り組んでいる時、学習は子供たちの反応がないような、不思議な時間になります。

そんな不思議な集中した時間が終わると、子供たちは大きなため息をつきながら「疲れたあ」とつぶやくこともあります。

一心不乱に集中できるというのは、素晴らしいことだと思っています。こうした集中した学びのきっかけが、相手の目を見つめ返すことやしっかりと見つめることであるとしたら、私たちは、もっと子供の目を見つめていかなければいけないと感じました。

真剣なまなざしの子供たちを見つめながら、「わが子の目をしっかりと見て話さなければいけない」とわが身を反省しつつ、しみじみ感じたのでした。

音楽会では、そんな集中した子供たちの様子がきくと見られることと思います。音楽会以外でも、がんばったことや、素敵なことについて、お子さんと目を合わせてゆつくり語りってみてはいかがでしょうか。



### 十二月の主な行事予定

23	22	21	20	19	16	15	14	13	12	9	8	7	6	5	3	2	1
金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	土	金	木
終業式 午前授業	給食終 午前授業		水曜時程5時間授業	持久走キャンペーン終	教育相談日 水曜時程5時間授業	教育相談日 水曜時程5時間授業	研究授業	水曜時程5時間授業 保護者会(わ)	持久走キャンペーン始	3・4年5時間授業 保護者会(3・4)	5・6年5時間授業 避難訓練 保護者会(5・6)クリン(2)	午前授業	水曜時程5時間授業	振替休業日	音楽会(保護者鑑賞日)	音楽会(児童鑑賞日)	午前授業(1~5)会場準備(6) 安全指導

## 遠足に行きました

二年担任 室岡 宗一

清々しい秋晴れの中、二年生は立川市にある昭和記念公園に行きました。事前指導では、行き帰りの安全な歩行の仕方や電車に乗っている時の約束、公共の場でのマナーについて話しました。当日は、どの子もきまりを守って、安全に過ごすことができていました。

今回は、武蔵砂川駅から昭和記念公園まで歩きました。時間にしておおよそ四十分かかります。子供たちは、友達とおしゃべりしたり、橋から川を眺めたりしながら楽しく歩いていきました。公園では、『雲の海』や『虹のハンモック』、『空のすべり台』で遊びました。あまり見ない遊具もあり、子供たちは目を輝かせながら遊んでいました。お昼の時間には、『ドラゴンの砂山』で大きな口を開けたドラゴンを眺めながら、お弁当を嬉しそうに食べていました。

帰る時間になると「もつと遊びたい！」という声が聞こえました。どの子も体をたくさん動かして、にこにこ楽しい遠足になりました。

## 田無神社の宮司さんへインタビュー

四年担任 宮脇 佳彦

田無小学校百五十周年を来年に控え、今年から総合的な学習の時間で地域とつながりのある学習に取り組み始めました。四年生は、「未来につなげよう田無の歴史と文化」田無神社の学習を通して歴史を伝えよう」という単元で、田無神社について調べ、伝える学習を行います。

各学級で、田無神社について知っていることを話し合いました。子供たちの田無神社について知っていることを共有し、学習のスタートを同じに整えた後に、知りたいことや調べたいことについて話し合い、宮司さんへの質問内容を決めました。

十一月十六日（水）に各学級二十分程度、宮司さんへインタビューを行いました。一つ一つの質問に丁寧に分かりやすく答えていただき、実りのある貴重な取材を行うことができました。この取材をまとめ、自分たちにできることは何か考える学習へと進めていく予定です。

## 図工室から「子どもの姿」

図工専科 島村 景子

はじめまして、今年度から図工教員になりました島村です。図工の授業の中で、子供たちは様々な姿を見せてくれます。その中でも、私がつとも嬉しく、そして微笑ましく感じる瞬間は「この作品、いつ持って帰れるの？」と子どもに聞かれる時です。早くお家に持って帰り、お家の方に褒めてもらうことが待ちきれないといった様子です。高学年ともなると、自分から作品についてあれこれと話すことは少なくなります。しかし、どの子供も作品の作者です。子供が作品を自宅に持ち帰りましたら是非「どうしてこうしたの？」と聞いてみてください。

私が考えている、図画工作の時間を通して育てたい子供像は「自分で意味を見つけ、試行錯誤しながら、自分なりの方法で表現を追求し、自分の想いを実現できる子供」です。これは群馬大学 教授 林耕史先生の言葉です。まだまだ未熟な私ですが、一人一人が自分の想いを表現できるよう、指導を工夫していきたいと考えています。

## 持久走キャンペーンについて

体力向上部 石川 博也

本校では、子供たちの体力の向上を目指して、「持久走キャンペーン」を行う予定です。

十二月十二日（月）～十二月十九日（月）の期間中に、一日に二学年ずつ、中休みの時間で取り組みます。各学年二回ずつ実施する予定です。

子供たち一人一人にとって、無理のないペースで、三分間コースを走り続けられます。動きを持続する能力を高めること、また、自分に合ったペースで走ることができるようになることを目指して取り組んでいきます。

昨年度は実施できなかった取り組みですが、安全第一で、子供たちが元気いっぱいに走ることができるよう取り組んで参ります。